

ようこそ 鞆の浦学園のホームページへ

トップページの写真は、日本初の国立公園に指定された「瀬戸内海国立公園」の景勝地である「鞆の浦」の風景と学校の様子です。

潮待ちの港「鞆の浦」

鞆の町は、いにしえより潮待ちの港として栄えました。潮待ちとは、瀬戸内海の潮の分かれ目となる鞆の港で、潮の流れが変わるのを待つことを言いました。この潮の満ち引きを待つ多くの船が集まり、活気に満ちていました。

昨年4月、歴史と文化に培われた鞆の町に、福山市初の義務教育学校「鞆の浦学園」が開校しました。校舎は高台にあり、瀬戸内海国立公園の景色（仙酔島をはじめ瀬戸内の島々）や四国を眺めることができます。

開校2年目も、保護者や地域の方とともに、教職員が一丸となり、小中一貫教育の良さ、義務教育学校の良さを最大限に生み出しながら、子どもと教職員が元気で輝く姿を追い求めます。

「いのち、輝く！ No Child Left Behind!」

～ 一人一人が自分らしく、

すべての場面でいのちを輝かせる児童・生徒&教職員 ～

すべての子どもが自分らしく、力いっぱい花を咲かせること

そして、それを支える教職員も、一丸となり、全精力を注ぐ
自分らしく生きる時、人は自然に輝く

そこには、打算も、優劣も、勝ち負けもない
互いに認め合い、学び合い、感謝し合う心が人を育てる

こうした土台があつてこそ、一人も残さず、すべての命が輝く
人は、生まれてきただけで価値がある

与えられた命を、すべての場面を通して、精魂込めて、耕し続ける
それが、教育の使命だと考える

2020年（令和2年）4月
福山市立鞆の浦学園校長 宇根一成